

# 女子舵手つきクオドルプル 2年連続 春・夏・秋 三冠達成

## ボート かごしま国体 美方三種目制覇



貫禄のある走りを見せた女子舵手つきクオドルプル

九月二十一日〜二十四日、鹿屋市輝北ダム特設ローイングコースにて「燃ゆる感動かごしま国体」ローイング競技が行われた。美方高校単独で出場した、男子・女子舵手つきクオドルプルと女子ダブルスカルが優勝を果たした。女子舵手つきクオドルプルは二年連続春・夏・秋の高校三冠を達成した。

女子舵手つきクオドルプル(志賀、小野寺、武田、岩本、満田)は美方高校の歴史上最強のクルーで出場した。予選、準決勝とトップタイムで通過し、自信をつけて決勝に臨んだ。決勝はスタートからスピードに乗るが、岐阜が食らいつき引き離せない。しかし、五〇〇m地点から徐々に差を広げると、後半は持ち味である長い一本の漕ぎと粘り強さで二位に四秒差をつけてゴール。今回の優勝により、全国選抜、インターハイと合わせて高校三冠を達成した。小野寺紗耶さんは「準決勝決勝と進むことに良いレースができた。漕ぎのリズムや正確さ、一体感を求めて練習してきた成果が出た」と振り返った。今



終盤もスピードを落とさない男子舵手つきクオドルプル

後は「来月にも大会があるので、次は個々の目標に向かって頑張りたい。一、二年生には中部選抜で全国選抜への切符を掴んでほしい」と語った。男子舵手つきクオドルプル(天渡、石田、岡本、中田、寺田)はインターハイでの経験を生かしつつ、更にレベルアップした布陣で挑んだ。決勝では勢いのある岡山にスタートで離されないうよう、世界ジュニアを

経験した岡本の配置を変更。その作戦が当たり、序盤は岡山をコンマ差で追いかけて、残り四〇〇mでスパートをかけると二秒差をつけてフィニッシュした。天渡羅偉さんは「今までで一番楽しく爽快感のあるレースができた。インターハイでは三位に終わり、必ずリベンジするという気持ちで挑んだ」と話した。一、二年生には「自分たちが成し遂げられなかった高校三冠を取ってほしい」と期待を寄せた。女子ダブルスカル(野瀬、江田)は一、二年クルーで初の全国大会だったが予選、準決勝とトップタイムで通過した。決勝はスタートで他クルーに出られてしまい、五〇〇mまでは前を追う展開に。中盤でリズムを切り換え、七五〇mでラストスパートをかけると一気にトップに躍り出てそのままゴールした。野瀬彩音さんは「二人で声掛けをし、気持ちを合わせる事ができた。福井選抜の連覇を繋げることができて嬉しい」と語った。今後は「全国選抜の出場権獲得に向けて頑張りたい」と意気込んだ。



息の合った連携でスパートをかける

### 清水先生のコメント

女子クオドルプルは高校三冠連覇のプレッシャーがかかる中、決勝では相手に一度も先行されることなくゴールできた。男子クオドルプルは岡本の配置入れ換えという作戦がうまくはまり強豪に打ち勝った。目標としていた三分五秒を出すこともできた。女子ダブルスカルは野瀬がまだ粗削りの江田の力を上手く引き出し、優勝に導いた。一、二年生は三年生との差が大きいので冬場のトレーニングで一人一人が力をつけ、中部選抜で全国選抜への出場権を獲得してほしい。